

Mare Chagall

愛知県美術館で開催の「シャガール展」に関連して、愛知県文化振興事業団では3つの公演を実施します。パリ・オペラ座の天井画をオーケストラと合唱で巡る「シャガールコンサート」、シャガール展に寄せた新曲も発表する「KITO, Akira Brass Band!」、美術館という異空間での朗読「語りと音で誘うシャガール」と、いずれも特色的な公演です。この春、シャガールの多才な世界に浸ってみてください。

チケット取扱い

●愛知芸術文化センター内プレイガイド（地下2階） ☎052-972-0430

平日10:00～19:00、土日祝10:00～18:00。月曜定休（祝日・振替休日の場合は翌日振替）

●チケットぴあ

【店頭購入】 チケットぴあ店舗、セブン-イレブン、サークルKサンクス

※チケット1枚につき税別100円の発券手数料がかかります。

【電話予約】 ☎0570-02-9999

※チケット1枚につき税別200円のシステム手数料、税別100円の発券手数料がかかります。

●アイ・チケット ☎0570-00-5310（祝日を除く月～土10:00～17:00）

（シャガールコンサートのみ） <http://clanago.com/i-ticket>

※購入方法によりチケット代金のほかに手数料が必要になる場合があります。

※「シャガールコンサート」については団体割引があります（20名様以上）。詳細はお問い合わせください。

※「シャガールコンサート」朗読での未就学児の入場はお断りいたします。

※「シャガールコンサート」については、託児サービスをご利用ください。

※やむを得ず、曲目・出演者等が変更になる場合があります。

※入場料金の表示金額はすべて消費税込です。

アクセス・会場案内



愛知県芸術劇場

愛知県美術館

（愛知芸術文化センター）

名古屋市東区東桜1-13-2

☎052-971-5511

コンサートホール……4階
小ホール……地下1階
愛知県美術館……10階

地下鉄東山線・名城線「栄」駅下車、または、名鉄瀬戸線「栄町」駅下車、東へ徒歩5分。（オアシス21から地下連絡通路または2F連絡橋経由）

※愛知芸術文化センター地下にある駐車場は専用駐車場ではありませんので、週末やイベント開催日は混雑いたします。なるべく公共交通機関をご利用下さい。

お問い合わせ

公益財団法人 愛知県文化振興事業団

☎052-971-5609（平日9:00～17:30）FAX 052-971-5646

<http://www.aac.pref.aichi.jp/> E-mail : aaf01@aac.pref.aichi.jp

◎先行前売ペアチケット 2,000円 [2/24(月)まで発売中]

◎前売券 [販売期間: 2/25(火)～4/16(水)]

▶一般 1,400円 (前売・団体1,200円)

▶高校・大学生 1,100円 (前売・団体900円)

▶中学生以下無料

シャガール展公式サイト <http://m-chagall.com/>

Mare Chagall

愛知県美術館
シャガール展
4月17日(木)～6月8日(日)

※4/23及び5/14のコンサートのチケットをご提示いただくと、シャガール展会期中の会場での当日料金が100円割引となります。チケット1枚につき一回限り。美術館チケット売場で購入の場合のみ対象（他の割引との併用不可）。

《公演のお知らせ》

「エトワール・ガラ2014」 7/25(金) [3/15(土)発売]

「勅使川原三郎&ニコラ・ル・リッシュ『Sleep 睡眠』」 8/21(木) [4/20(日)発売]

シャガールの天井画でも有名なパリ・オペラ座。オペラ座バレエ団のエトワール(トップ・ダンサー)が愛知県芸術劇場大ホールで舞う

愛知県美術館「シャガール展」連携事業



シャガールコンサート～パリ・オペラ座の天井画

4/23(水) 18:15

愛知県芸術劇場コンサートホール

KITO, Akira Brass Band! コンサート

～シャガール、クレスマー、色とりどりのうた

5/14(水) 19:00

愛知県芸術劇場 小ホール

朗読

語りと音で誘うシャガール

5/17(土)・22(木) 19:15

愛知県美術館

主催：公益財団法人 愛知県文化振興事業団 愛知芸術文化センター

協力：aomoo 愛知県美術館

シャガールコンサート～パリ・オペラ座の天井画

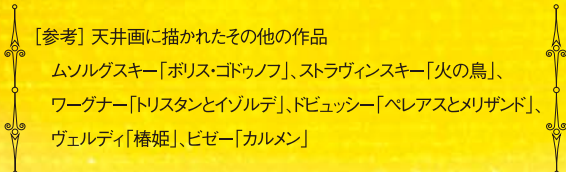
2014.4/23 (水) 18:45開演 (18:00開場)

愛知県芸術劇場コンサートホール

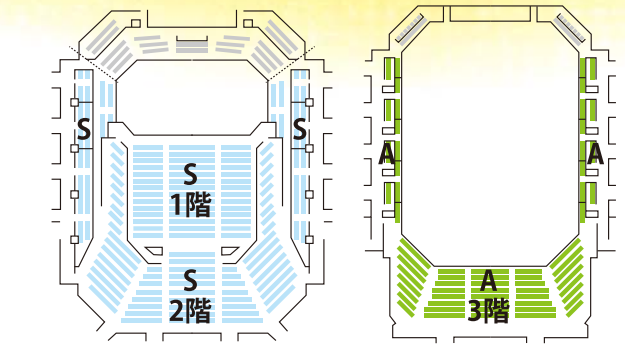
シャガールが手掛けたパリ・オペラ座の天井画に焦点をあて、モチーフとなったオペラやバレエなど8作品を管弦楽と合唱による生演奏と解説で紡ぎます。天井画に描かれた作品は、試練を乗り越える男女を題材としたものが多く、“愛の画家”シャガールを象徴しています。オペラ座は豪華絢爛な内装を誇り、世界中から集まった音楽家の聖地でした。外周と内周の二重で、青・白・黄・緑・赤の5つのエリアに構成された天井画を想像しながら、シャガールが最も好きな『魔笛』を幕開けに、その絵にも通じるスケール・曲線美・色彩感の『ダフニスとクロエ』までを、パリを彩った名曲の数々と巡ってみませんか？

【曲目】

- モーツァルト：オペラ「魔笛」序曲、終幕の合唱
- ラモー：オペラ「プラテ」“メヌエット”
- グルック：オペラ「オルフェオとエウリディーチェ」“精霊の踊り”
- ベートーヴェン：「フィデリオ」序曲
- アダン：バレエ「ジゼル」第2幕“アダージョ”
- ベルリオーズ：劇的交響曲「ロメオとジュリエット」“マブ女王のスケルツォ”
- チャイコフスキー：バレエ「白鳥の湖」“情景”“ワルツ”
- ラヴェル：「ダフニスとクロエ」第2組曲



入場料金 (全席指定) S席 ¥4,500 A席 ¥2,500



- チケット取扱** 発売中
- 愛知芸術文化センター内プレイガイド
 - チケットぴあ(Pコード:217-519)
 - アイ・チケット

託児サービス (事前予約制) 対象:満1歳以上の未就学児
 料金:1名につき税込1,000円 申込締切:4月20日(日)
 託児申込み・問合せ:
 トットメイト ☎0120-01-6069 (受付時間9:00~17:00)

指揮：時任康文

武蔵野音楽大学器楽科卒業後、東京音楽大学指揮科に学ぶ。指揮法を紙谷一衛、汐澤安彦の各氏に師事。在学中より二期会、日生劇場を中心にオペラの音楽スタッフとして参加。小澤征爾氏、若杉弘氏、秋山和慶氏等のアシスタントを務めた。1990年、カールマンのオペレッタ『チャールダッシュの女王』を指揮してデビュー。その後、数々のオペラ団体を指揮しオペラの主要作品を指揮した。平成8年度文化庁派遣芸術家在外研修員としてイタリアに留学。ネッロ・サンティ氏に師事し、チューリッヒ歌劇場、メトロポリタン歌劇場、サンフランシスコ歌劇場等と同行、彼のアシスタントとして研鑽を積んだ。オーケストラへの客演も多く、東京交響楽団、東京フィルハーモニー、日本フィルハーモニー、新日本フィルハーモニー、新星日本交響楽団、名古屋フィルハーモニー、大阪センチュリー交響楽団、神奈川フィル等を指揮し好評を博す。2012年3月の当財団プロデュースによる『音の楽園The Three by One vol.3』オペラ『マクベス』(演奏会形式)に引き続いての再登場。東京音楽大学、武蔵野音楽大学、二期会オペラ研修所各講師。



管弦楽：名古屋フィルハーモニー交響楽団

愛知県名古屋市を中心に、東海地方を代表するオーケストラとして、地域の音楽界をリードし続けている。その革新的な定期演奏会のプログラムや、充実した演奏内容で広く日本中に話題を発信。“名フィル”の愛称で地元住民からも親しまれ、日本のプロ・オーケストラとして確固たる地位を築いている。2013年4月より、マーティン・ブラビンズが常任指揮者に就任。多彩なレパートリーを誇る英国の実力派指揮者の就任に、全国から高い注目と期待が集まっている。現在の指揮者陣には、小林研一郎(桂冠指揮者)、モーシェ・アツモン(名誉指揮者)、ティエリー・フィッシャー(名誉客演指揮者)、円光寺雅彦(正指揮者)、川瀬賢太郎(指揮者)が名を連ねている。楽団結成は1966年7月。1973年4月に名古屋市の出捐により財団法人に、2012年3月に愛知県より認定を受け公益財団法人となる。シーズンごとにテーマを設け、意欲的な内容で回を重ねている「定期演奏会」をはじめ、親しみやすい「市民会館名曲シリーズ」や障がいのある方を対象とした「福祉コンサート」など、バラエティに富んだ年間約120回の演奏会を行っている。



2013年オペラ「蝶々夫人」カーテンコールより

合唱：AC合唱団 (合唱指揮：山口浩史)

愛知県文化振興事業団主催のオペラ公演に出演する合唱団として結成された。ACとはArts Centerの略で、活動拠点である愛知芸術文化センターにちなんだ名称である。『魔弾の射手』、『さまよえるオランダ人』、『トゥーランドット』、『後宮よりの逃走』、『ルイザ・ミラー』、『セビリアの理髪師』、『愛の妙薬』、『仮面舞踏会』、『椿姫』、『白鳥』(愛知万博開催記念・委嘱新作)、『ラ・ボエーム』、『ファルススタッフ』、『ホフマン物語』(あいちトリエンナーレ2010)、『ランメルモールのルチア』(愛知芸術文化センター開館20周年記念)などのオペラに出演する一方、『コンサートシリーズ音楽への扉』、『オペラ・ガラ・コンサート』(愛知芸術文化センター15周年記念)、『ナブッコ』(演奏会形式)、『マクベス』(演奏会形式)などのコンサートにも出演。最近では、あいちトリエンナーレ2013プロデュースオペラ『蝶々夫人』に出演。また、2014年3月8日『ベートーヴェンの到達と祈り〜ベートーヴェン「荘厳ミサ」』(指揮：茂木大輔)に出演予定。出演者は公演の都度、オーディションを行って決定している。

KITO, Akira Brass Band!

～シャガール、クレズマー、色とりどりのうた

2014.5/14 (水) 19:00開演 (18:30開場)

愛知県芸術劇場 小ホール

東欧系ユダヤの民謡をルーツに持つクレズマー音楽。シャガールが幼少時に聴いていたとされるこの音楽に通じる歌心やスピード感を感じさせ、うたとエネルギーにあふれるコンサートを開催。名古屋を拠点に活動する鬼頭哲(きとう あきら)がシャガール展に寄せた新曲も披露します。

入場料金 (全自由席)

前売：一般 ¥1,800 / 小・中・高校生 ¥1,200

当日：一般 ¥2,000 / 小・中・高校生 ¥1,500

※未就学児同伴の場合は、あらかじめ当財団へご予約ください。

チケット取扱 3/14(金)発売

- 愛知芸術文化センター内プレイガイド
- チケットぴあ(Pコード224-238)



KITO, Akira Brass Band! (鬼頭 哲 ブラスバンド / KABB!)

「渋さ知らズ」や「東京中低域」などを中心に国内外でバリトンサクソフ奏者として活躍する鬼頭 哲(きとう あきら)をリーダーに2001年結成。管打楽器だけで構成された大所帯ブラス楽団のメンバーは、クラシックの第一線で活躍する奏者や新進気鋭のジャズミュージシャンら総勢約30名を超える。個性的なメンバーで演奏されるのは、全て鬼頭作曲による繊細かつダイナミックなオリジナル楽曲。これまで行った愛知芸術劇場、名古屋市千種文化小劇場などでの公演は、満員御礼大盛況。「KITO, Akira Brass Band !」が奏でるのは、「吹奏楽」とも「ジャズ」とも違う、唯一無二のブラスポップミュージック! Official Website <http://www.kito-akira.com/brassband>



鬼頭 哲

1968年、愛知県生まれ。作曲／編曲家、バリトンサクソフ奏者。吹奏楽部で活躍した中学、高校時代を経て、十代からプロミュージシャンとして早熟な才能を発揮。ジャズ、ブルース、ポップス、ヒップホップ、ラテンなどさまざまな音楽履歴を持つ。バリトンサクソフ奏者として「渋さ知らズ」や「東京中低域」などにレギュラー参加。国内ではフジロックフェスティバル、ライジングサンロックフェスティバルなど、またメルスジャズフェスティバル(独)を筆頭に、これまでヨーロッパ諸国ほか各国で、世界的に有名な舞台にて多数演奏する。作曲家としてアンサンブルや吹奏楽などの楽曲も手がける。音楽に対する信条は「音楽は『音で楽しませるもの』」。『KITO, Akira Brass Band !』では、作曲、編曲、指揮、演奏、あらゆるディレクションを行っている。

シャガールにクレズマー。どちらも僕にとって、数十年來の付き合いがあるので良く知ってるんだけど特別親しい訳でもなく。この先も「どうこうなる」なんて事は無いんだろうなあ〜といった「先輩のお姉さん」みたいな存在なんです。今回この「憧れの人」みたいな2つの要素とガッツリ向き合う事になって…とにかく「あなたのことが大好きです」って気持ちで当たって砕けようと思ってます。

朗読 語りと音で誘うシャガール

2014.5/17(土)・22(木) 19:15~20:00 (両日とも愛知県美術館閉館後)

愛知県美術館 ※5分前までに美術館入口にお集まりください。開始後は入場いただけません。なお、展覧会はご覧いただけません。



さきばら ただよし

榎原忠美 (朗読、劇団クセック ACT)

1980年、名古屋を拠点とする劇団クセックACTの結成に参加。俳優として劇団活動の傍ら、新たな表現方法を求めてソロ活動として朗読と音楽を交えたコラボレーションも行っている。劇団活動として『イエルマ』(作:ガルシア・ロルカ)、『ドン・キホーテ』(作:ミゲル・デ・セルバンテス)、『ロマン・愛と死—オルメドの騎士—』等、ソロ活動として『砂の本』(原作:ホルヘルミス・ボルヘス)、『返されなかった青春』(原作:ジョバンニ・パビーニ)、『沈黙の朗読』、『初恋』(原作:水城雄)、『袈裟と盛遣』、『藪の中』、『奉教人の死』(原作:芥川龍之介)、『外科室』(原作:泉鏡花等)。なお、朗読『木を植えた人』(原作:ジャン・ジノ)は、99年~2013年の15年間で、ステージ数333回に達している。

入場無料 (愛知県美術館「シャガール展」展覧会チケットまたは半券の提示が必要)

はしもと ともひさ

橋本知久 (演奏)

作曲・振付・演出を統合する「時間芸術家」という肩書を掲げて活動を展開。音楽、舞台、映像、展示、まちづくりなど広い意味でのコミュニケーションのデザインを通して、さまざまな領域で“響きあう時間”をつくり出すことを目指している。作品は日本、オランダをはじめ、アメリカやヨーロッパ各地で上演、演奏、放送されている。コラボレーションに対する感性にアーティストからの信頼も厚く、近年演劇やダンスなど舞台音楽の作曲・演奏も増えている。愛知県文化振興事業団プロデュース『どこか行く舟』では作曲・演奏を担当した。あいちトリエンナーレ2013では現代舞踊協会中部支部主催『空間飛行』で音楽担当、フェスティバル FUKUSHIMA!に出演など。オランダで作曲とダンスを学び2012年に帰国。アトリエ・ラーノを設立し、国内各地で活動している。愛知県立芸術大学非常勤講師。名古屋市出身。

